

サウディ・アラビア国

リアド技術短期大学電子工学技術教育改善計画
実施協議調査団報告書
付・長期調査員報告書

平成9年3月

国際協力事業団
社会開発協力部

序 文

サウディ・アラビア王国は石油に依存する経済構造からの脱却を図るため、従来の石油関連装置産業に加えて、雇用機会の拡大に結びつく産業の育成をめざしている。そのためには、いわゆる中堅専門技術者の育成が重要な課題であるとして、同国は1993年に設立されたリアド電子技術学院を技術短期大学に昇格させ、電子工学科の拡充・強化を図る計画を立てた。

この計画の実施にあたってサウディ・アラビア政府は、これまで我が国が行ってきた工業高校レベルの「リアド電子技術学院プロジェクト」協力を高く評価し、改めて我が国に、電子工学科の3コース（工業電子・制御、コンピューター技術、通信技術）における専門技術教育改善の技術協力を要請してきた。

これを受けて国際協力事業団は平成6年11月から「電子技術学院プロジェクト」の枠内で「短大昇格プログラム」に協力を始め、平成8年9月以降は、二度にわたる長期調査でプロジェクト方式技術協力実施の妥当性を確認し、協力内容の大枠についてもサウディ・アラビア側と合意に達した。このあと、平成9年2月28日から3月10日まで、外務省経済協力局技術協力課企画官

塩尻宏氏を団長とする実施協議調査団を現地に派遣し、討議議事録（R/D: Record of Discussions）の署名を取り交わして、同年4月1日から4年間にわたる技術協力を開始する運びとなった。

本報告書は同調査団の調査・協議結果及び第1回、第2回長期調査員報告書を取りまとめたもので、今後のプロジェクト展開に広く活用されることを望むものである。ここに調査にあられた各位をはじめ外務省、文部省、在サウディ・アラビア日本大使館など関係各機関の方々に深く感謝するとともに、今後の更なるご支援をお願いする次第である。

平成9年3月

国際協力事業団
理事 佐藤 清